

第1学年 音楽

第1学年の学習到達目標

- (1) 楽しい音楽活動を通して、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) リズムに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 音楽の楽しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	うたでともだちをつくろう うたでさんぼ ぞうさんのさんぼ てとてであいさつ みっきいもうすマーチ ひらいたひらいた	音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようにする。 友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。	絵のなかから歌を見つけ歌う。 歌いながら仲良しになる。 音楽に合わせてみんなで身体表現を工夫して歩く。 歌詞の表す様子に合うように身体表現をしながら歌う。 こころのうた
	おんがくにあわせてあそぼう まねっこあそび せいじゃのこうしん / たぬきのたいこ かたつむり じゃんけんぼん けんけんば うみ	歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。 拍の流れを感じながら、簡単なリズムを表現することができるようにする。	手拍子に合わせて遊ぶ。 音楽に合わせて体を動かす。 一緒に歌ったり友達とじゃんけんをしたりする。 けんばのリズムに合わせて身体表現をする。
	リズムにのってあそぼう しろくまのジェンカ てをたたきましょう ぶんぶんぶん ことばあそび	歌ったり身体表現をしたりして、リズムの違いを感じ取ることができるようにする。 拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。	音楽に合わせてリズムを打ったり踊ったりする。 歌のリズムで遊ぶ。 “たん”と“たた”のリズムで遊ぶ。 “たん”と“たた”のリズムで言葉遊びをする。
後期	いいおとをみつけてあそぼう どんぐりさんのおうち ばすばすはしる みつばちのぼうけん おとあそび ひのまる おちば	音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。 階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。	“ド”と“ソ”の音を吹く。 好きな音を吹く。 いろいろな音に気をつけて聴く。 こころのうた きれいな音でふく。
	ようすをおもいうかべよう おどるこねこ きらきらぼし はるなつあきふゆ	楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようにする。	子猫の様子を思い浮かべながら聴く。 お星様に呼びかけるように歌う。 場面の様子を思い浮かべながら歌う。

後期	みんなであわせよう かえるのルンバ とんくるりん ぱんくるりん こいぬのマーチ あいあい	楽器の音色や響きを感じ取って、 聴いたり演奏したりすることが できるようにする。 互いの声や音を聴きながら、拍の 流れを感じ取って演奏することが できるようにする。	いろいろな楽器の音に気をつけて 聴く。 歌と楽器をあわせて演奏する。 きれいな音で合奏する。 よびかけ合って歌う。
	のびのびとうたおう そろそろはるですよ きみがよ	発音や声の出し方に関心をもって 歌ったり、みんなで声を合わせて 歌う喜びを味わったりすることが できるようにする。	みんなで声を合わせて歌う。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 音楽に対する興味・関心をもち、進んで音楽活動を楽しもうとする。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。</p> <p>【表現の技能】 模範の演奏を聴いて演奏したり、リズム譜に親しんだりするとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素に気を付けながら、曲の気分を感じ取って聴く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>音楽科では、行動の観察、表現、鑑賞のワークシートなどを手がかりにして、子どものよい点や進歩の状況などを評価します。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) リズム感覚を中心として、他の感覚を伸ばしながら、音楽表現の基礎的な能力を伸ばしていきます。 音楽がきこえてくると自然に体が動き出す、音楽を体全体で感じ取り音楽との一体感を求めていく、本校ではこうした子どもの姿を大切に学習を進めます。</p> <p>(2) けん盤ハーモニカの学習をします。 子どもは楽器を使った活動が大好きです。本校では1年生からけん盤ハーモニカを個人持ちの楽器としています。けん盤ハーモニカは旋律を自分の耳と目と指で確かめながら演奏する楽器で、音に対する感覚を育成していきます。</p> <p>(3) 音楽の時間に扱う音は、声や楽器の音に限ってはいません。 子どもの身の回りの音も学習の対象です。耳を澄ますといろいろな音がきこえてきます。大きな音、小さな音、長い音、短い音などこうした音の違いに気付いていくことは、これからの音楽活動を進めていく上で大切な力となっていきます。このことは、題材「いいおとをみつけてあそぼう」で、主に学習します。</p>
--

使用教材等

<p>教科書「小学生のおんがく1」(教育芸術社) CD、ビデオ、歌集、楽器など</p>

留意事項

<p>(1) ご家庭でのけん盤ハーモニカの練習にご協力をお願いします。 けん盤ハーモニカの宿題を出すことがあります。タンギングや指使いに気を付けて練習できるように、ご家庭でも励ましてあげてください。</p> <p>(2) 保護者の方がご存知の手遊びうたやわらべうたなど、ご家庭でも一緒に歌ってみるのもいいですね。遊びながら自然に拍の流れを感じ取っていくことができます。</p>
--